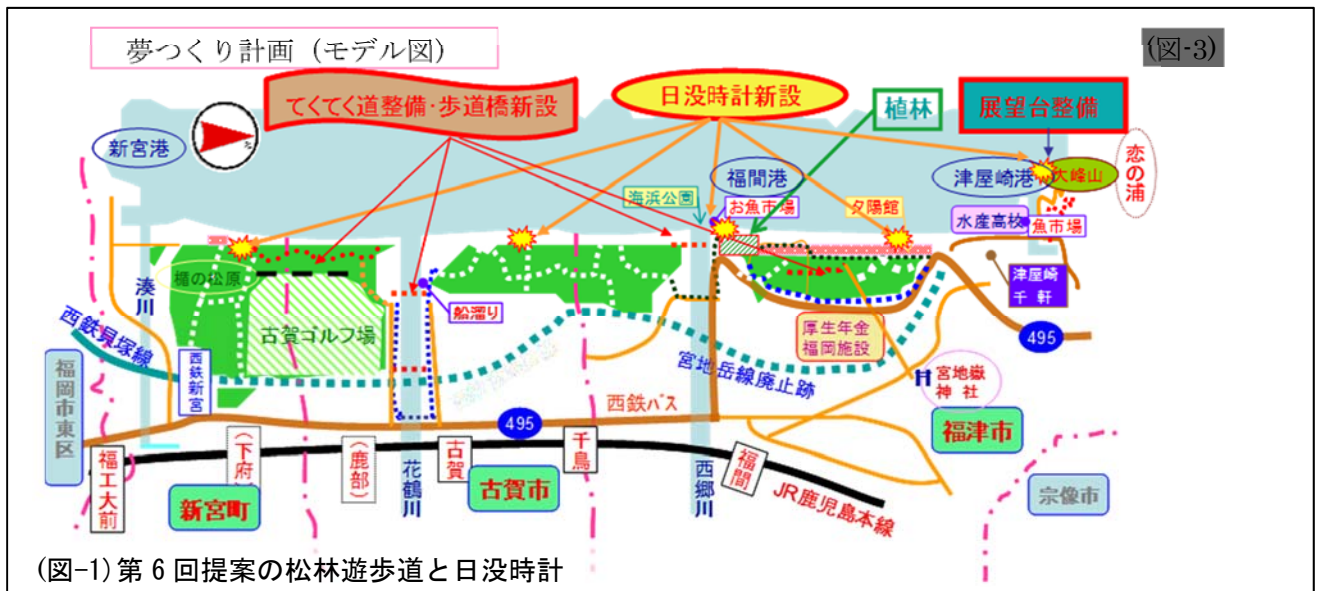


地域に愛される「夢アイデア」 —成長する夢アイデア—

【要点】夢アイデアは地域と共有すると成長し、地域に愛される。そのような夢を実現したい。

【本文】ずっと以前、夢アイデア交流会の懇親会にて「・・・、地元でプレゼンしてみたら？」と、私の発表作品に対するアドバイスがあった。それを実行に移したのは、H20年の第6回の夢アイデア提案「住んでいる地域の宝を誇りに」の発表作品。新宮から津屋崎間の10km松林と夕陽は宝であり、遊歩道を整備し、途中に日没時計を設置することを夢



見たのだった。(図-1)

まず古賀市の松林保全団体の勉強会や2市1町合併市民会議でプレゼンしたところ好評であり、古賀市及び福津市の市長並びに幹部にも見て貰った。

その後、H25年に、松林改善に中学生の力を借りようと、福間中学校の生徒達に「松林勉強会」を学内と現地で行った。第6回発表作品に加え、松林の目的歴史から保全作業の問題点(作業者高齢と不足)等を説明し、松林遊歩道を歩き現状認識をして貰った。

彼らの熟議の結果は、市民が松林に気軽に来れるように、公園化(掲示板や道しるべの設置)、並びにウォークラリー実施という具体的提案だった。これを福間郷づくりが実行に移し、今回3回目で、コースを延長して、宮司から津屋崎郷づくり地域に及んだ。(図-2)

第3回  
海岸松林ウォーク  
in ふくま・宮司・津屋崎

平成28年  
10/30(日)  
会場 福間漁港海浜公園

参加無料  
駐車場有り

コース  
Lコース 15km  
受付 9:30 スタート 9:30  
Mコース 8km  
受付 9:30 スタート10:30  
Sコース 4km  
受付 10:30 スタート11:00

申込  
ふくま郷づくりの会  
TEL/FAX 0940-72-1085  
受付時間9:00~17:00 (土日はFAXのみ)  
E-mail: sakto@fukuma@cd.wakwak.com

申込期間  
平成28年9月1日(木)~10月23日(日)

申込内容  
住所・氏名・年齢・電話番号・希望コース

主催: 福間地域郷づくり推進協議会 後援: 福津市

(図-2) 中学生提案の松林ウォーク続く

他方、H26年に津屋崎千軒「海とまちなみの会」は松林も含む「津屋崎里歩きフットパ

ス」コースを設定。このように、松林遊歩道は市民に愛されるようになった。

現在でも松林保全の最大課題は、作業者が高齢者ばかりで、後継者が少なく、福間中学生が全学年で応援継続しているものの、範囲が広く、毎年生える草の除草と、積もる枯松葉かき、その持出し処理に追われていること。

第6回作品では、パラソル松原林の地図を、日本三大松原の3つの地図を並べ、規模と形状で日本一と自我自尊していたが、三大松原のうち「三保の松原」と「気比の松原」を歩いていなかった。漸く昨年H27年歩き終え、その報告を、2市1町松林交流会（福津市・古賀市・新宮町）会員に限らず、一般の方や行政にも案内すると、参加者は3倍で、市長も列席。



(図-3) 今回提案：夢の「新松林構想」イメ

後日、参加していた地域に住む名誉教授の農学博士から、私に驚くべき提案「枯松葉をそのまま積んでおけば草が生えなくなる。ゴルフ場実績もある」があった。労力軽減の効果は大きいと思われる。ただし、日本古来の風景「白砂青松」も貴重。先ず、テストをすることにしたが、「新松林構想」の夢は、現状の遊歩道周囲を「白砂青松ゾーン」、内部を「落葉青松ゾーン」に区分けし、地域の作業を楽にしたい。(図-3)

第6回作品のもう一つの「日没時計」設置。

この着想は、ハワイワイキキ海岸で神秘的水平線夕陽に感動した後、福津海岸でも水平線夕陽に出会って感激したものの、島々が並ぶため、島に隠れる度に落胆するため、何処に沈むかを予測研究し、「夕陽ループ曲線」を考案。島影も書き込んだ試作品を置かせてもらった福津海辺のカフェで、客の島名質問に答えられて助かるとの店主の言葉から、風景の価値も含め、夕陽風景時計と改名した。



(図-4) 第6回提案日没時計想像図

夕陽風景時計第一号は、H23.03. 古賀市の「防風林を守る会」が、第二号はH26.07 福津市の津屋崎千軒「海とまちなみの会」が設置してくれた。第二号は、バージョンアップし、車椅子も入れるようにして観光展望図にも使えるよう設計。「津屋崎里歩きフットパス」の起点にもなるが、その後、このコ



(写真-1) 9/17 夕陽風景時計説明時のテレビ取材（撮影 正岡功氏）

ースは、新日本紀行「絶景の道 100 選」にも認定された。

新聞各紙の報道の外、RKB ラジオスナッピー中継がなされた。9/17 の「フットパス祭り  
と街並みフォーラム」の時には、多くの人々が訪れ KBC テレビの取材もあった。(写真-1)

フォーラムのなかで、フットパス専門家から、「夕陽風景時計では、自分の誕生日等の  
夕陽風景が分かることから『自分の風景』と言える」とのコメントもあった。

第一号は観光雑誌にも載り、今や古賀市の名所となり、今夏、古賀市主催のウォークが、  
夕陽が沈む前に夕陽風景時計に到着となる設定とする等、古賀市民に愛されるようになった。

当初の日没時計設置の提案は 5 か所 (図-1) であったが、それとは別の「畦町宿保存」  
が唐津街道畦町宿の高台天満宮に展望台を作り、そこへの設置が依頼された。

しかし、水平線に沈む夕陽風景時計は天文台情報をそのまま使えるが、夕陽が沈む山の  
稜線は一様でなく、沈む方位と時刻を割り出す厄介な計算を要することになった。さらに、

海辺では水平線の手前は海面の空白部分で、そこに  
「夕陽ループ曲線」を描いていた。ところが、畦町  
の展望台からは海は見え、仮水辺線の手前の眼下  
には唐津街道と畦町宿の街並みがあり、これを描か  
ないわけにはゆかない。そこで、夕陽ループ曲線を  
天空にあげて描き、上下左右の風景を広く描いた。

例えば、昔、「沖ノ島遥拝」がなされたことから、  
見えない沖ノ島方向を記したり、郷土愛に繋がるよ  
う無名の山々に仮の名前も記した。

冬至頃、夕陽風景時計の方位時刻と現実の夕陽  
の情景は、合致することを確認した。(写真-2)

山間では、夕陽風景時計の見方が複雑となったため、保存会事務局長に覚え易い言葉の  
俳句を依頼したところ、「月日ループで位置は下 左右辿れば時刻あり」の 7・5 調を頂いた。

夕陽風景時計も地域に愛されるようになり、西日本新聞では「夕日おじさん」と紹介さ  
れた。

地元小学生の地域学習で「畦町発見」があり、  
夕陽風景時計では、自分の誕生日には夕陽はどの山  
に沈むかを代わる代わる見て貰った。(写真-3)

畦町の山間の夕陽風景時計設計ノウハウを生か  
すことで、今後は、東の山々から昇る「朝陽の出」、  
及び、極めて複雑な動きをする月だが、「満月の出」  
に限った設計にかかりたい。

そして、例えば博多駅屋上からの宝満山方向の



(写真 2) 畦町宿夕景と夕陽風景時計



(写真 3) 自分の誕生日の夕陽を想像

連山風景と朝陽の出などの設計を何れ行い、皆さんに見て楽しんでもらうのも目下の夢だ。